

# 日刊 勤労千葉

84. 10. 8

No. 1761

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）五三五六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

## 肌で感じた緊迫・感動

成田支部代表10名は10月2日、10・10三里塚現地集會五割以上の動員をかちとる取り組みとして、反対同盟との交流会、現地視察を行い、さっそく職場に帰って3日以降、報告オルグを行っています。

代表10名が三里塚現地を訪れる

支部代表10名は10月2日、10時半に北原事務局長宅を訪れ、反対同盟の北原事務局長、小川嘉吉さん、平山賢さん、それに9月27日の用水決戦で不当逮捕され完黙非転向で獄中闘争を貫いて奪還されたばかりの鈴木幸司さんと合流し、前段交流会を行いました。

### 勝利闘争トット エジ塚三里

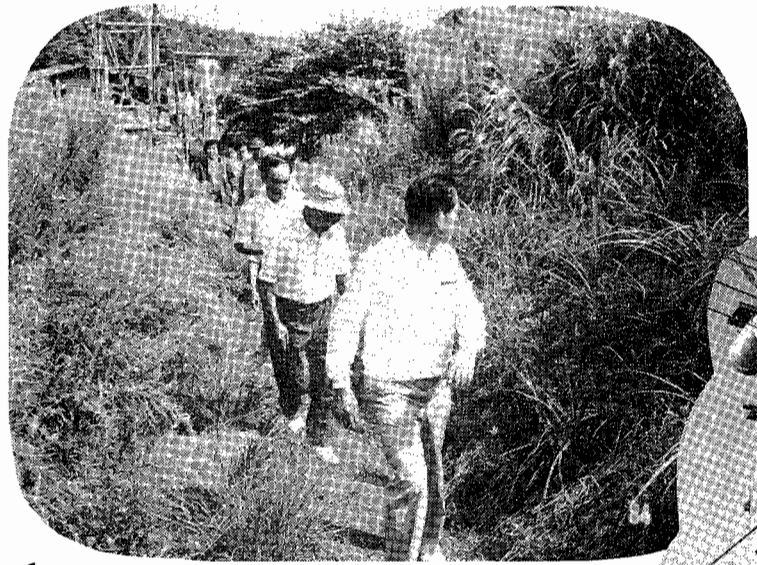
日暮支部長の司会により、反対同盟から現地情勢が話され、これをうけて支部より「10・10には3・25を上まわる動員で参加する」と決意を述べました。直ちに反対同盟の案内により



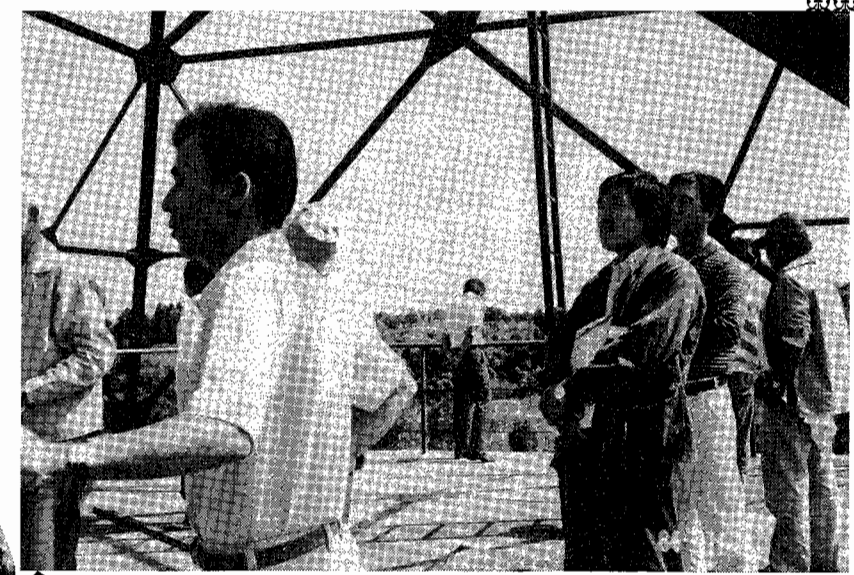
④ 現地視察を終えて総括交流会。正面左=日暮成田支部長、右=北原事務局長。（北原さん宅にて）

次に住母家の青行隊監視塔、天神峰の現闘本部とまわり、北原さん宅に帰って総括交流を行いました。

新たに加わった萩原進事務局次長、萩原勇一さんより、9月27日の成田用水強行阻止の攻防戦で完全武装の機動隊にひるむことなく対決し、凶暴な暴力的弾圧をはねかえし闘った時の様子や、テロ・リンチの事実や、不当にも逮捕された時の状況などが生き生きと話され、怒りと感動でいっぱいになりました。和気合々のうちに、時間も忘れるほどに意気統合し、成田支部との固い絆が培われました。参加者は10・10にむけ、五割動員を貫徹させなければならぬことを再確認しました。



① 条件派として脱落した農民が立ち去り荒れるにまかせた旧農地等、岩山地区を視察する調査団。



② 大鉄塔跡の岩山記念館は今も滑走路の真正面に立ちはだかって空港をにらみすえている。（屋上より）  
③ 用水決戦の真只中に立つ菱田・住母家の青行隊監視塔。非常用の「ガンガン」（ドラム缶）に緊迫感がただよう。

決戦の三里塚を  
現地視察・交流会  
成田支部・通信員発

なんとしても5割  
動員を実現しよう！  
10月10日、10時  
成田運転区・集合  
（バスにて）→正午・三里塚カー公園

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！